

2019年12月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	35,221,085	32,771,252	107.5%
国内旅行	3,445,963	3,821,636	90.2%
訪日旅行	1,925,485	2,680,549	71.8%
合 計	40,592,534	39,273,438	103.4%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ5社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また2019年11月より、日本における旅行事業のみに集計基準を変更しております。それに伴い、前期数値も同基準へ変更しております。

1. 海外旅行

海外旅行は、香港・韓国における需要の減少は継続しているものの、年末年始が最大9連休となったことから出発が12月に集中したこともあり、全体では好調に推移いたしました。方面別では、イタリアが前年同月比126%、スペイン・ポルトガルが同128%、アメリカ西海岸が同119%と長距離方面を中心に伸ばいたしました。また、家族旅行で人気の方面も増加しており、ハワイが同114%、グアムが同114%、シンガポールが同115%となりました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比107.5%の352億2,108万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	96.5%
オセアニア・南太平洋	104.0%
ハワイ・ミクロネシア	113.4%
欧州・中近東・アフリカ	125.9%
北米・中南米	105.1%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	105.1%
企画旅行	112.6%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	102.7%
オンライン	117.9%

2. 国内旅行

国内旅行では、年末年始の長崎行チャーター便の就航や、冬の沖縄キャンペーン、北海道においては他社との協働など各種施策を実施したものの、全体では前年のふっこう割需要からの反動減もあり減少いたしました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 90.2%の 34 億 4,596 万円となりました。

3. 訪日旅行

訪日旅行では、東アジアからの受客において、引き続き競争環境の悪化による単価の減少がみられており、訪日旅行の総取扱高は、前年同月比 71.8%の 19 億 2,548 万円となりました。

以上の結果、2019 年 12 月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 103.4%の 405 億 9,253 万円となりました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：03-6388-0707

広報室：03-5908-2346